



議会だより

第21号

みなべ

平成22年5月1日

発行 みなべ町議会
編集 議会広報特別委員会
〒645-0002 和歌山県みなべ町芝742
TEL 0739-72-1334
FAX 0739-72-1335



桜、満開の島ノ瀬ダム

3月定例会

平成22年度予算額と予算の審議 P2~5

一般質問に8人の議員が登壇 P6~13

常任委員会活動報告 P14

意見書1件可決・広報特別委員会研修 P15

平成22年度一般会計予算

82億7,000万円

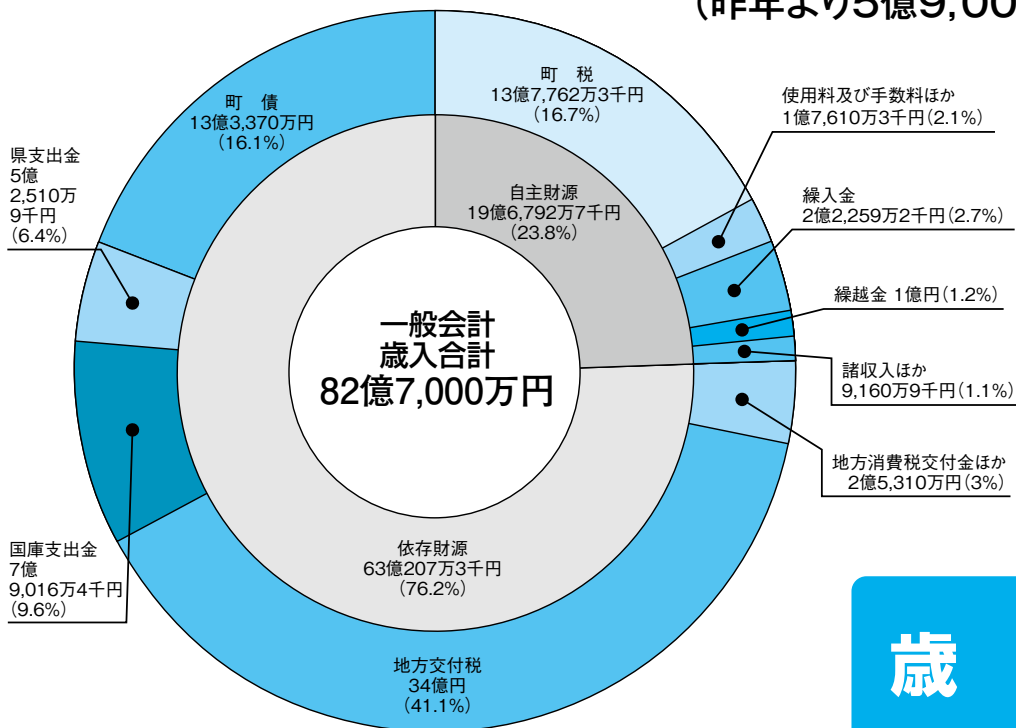
(昨年より5億9,000万円減)

平成22年第1回定例会で、一般会計と9特別会計の当初予算について、審議の結果、可決されました。

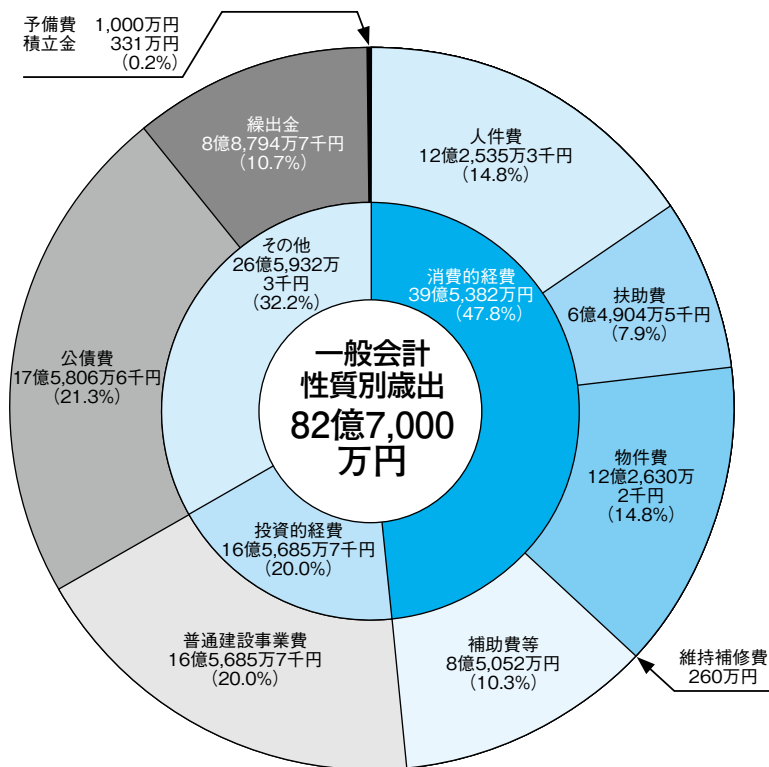
一般会計では、国の政策により平成21年度前倒しで実施する事業が増えたため、前年度より5億9,000万円の

減となりました。特別会計では、公共下水道事業会計で3億1,128万円の増となりました。これは

処理場の増築工事を行っているためであります。



歳入



歳出

□平成 22 年度みなべ町当初予算

一般会計・8特別会計

会計名	平成 22 年度	平成 21 年度	増減額
一般会計	82 億 7,000 万円	88 億 6,000 万円	▲ 5 億 9,000 万円
特別会計	46 億 9,714 万 1 千円	43 億 6,657 万円	3 億 3,057 万 1 千円
国民健康保険	19 億 478 万 4 千円	19 億 6,482 万 1 千円	▲ 6,003 万 7 千円
後期高齢者医療	2 億 5,119 万 7 千円	2 億 5,272 万 6 千円	▲ 152 万 9 千円
老人保健	116 万 5 千円	516 万 5 千円	▲ 400 万円
介護保険	11 億 5,839 万 6 千円	10 億 9,728 万 5 千円	6,111 万 1 千円
住宅新築資金等貸付事業	1,194 万 9 千円	1,270 万 4 千円	▲ 75 万 5 千円
農業集落排水事業	2 億 9,363 万 8 千円	2 億 9,810 万 4 千円	▲ 446 万 6 千円
公共下水事業	9 億 4,617 万 9 千円	6 億 3,490 万円	3 億 1,127 万 9 千円
簡易水道事業	1 億 2,983 万 3 千円	1 億 86 万 5 千円	2,896 万 8 千円
合計	129 億 6,714 万 1 千円	132 億 2,657 万円	▲ 2 億 5,942 万 9 千円

水道事業会計

収益的収入	1 億 4,708 万円	1 億 4,592 万円	116 万円
収益的支出	1 億 3,331 万 6 千円	1 億 1,508 万 5 千円	1,823 万 1 千円
資本的収入	1 億 861 万 7 千円	595 万 7 千円	1 億 266 万円
資本的支出	2 億 8,430 万 9 千円	8,510 万 8 千円	1 億 9,920 万 1 千円

一般会計歳出の主な事業と予算額

- 議会費……………8,228 万 2 千円 (▲ 109 万円)
- 総務費…………… 7 億 4,113 万円 (3,304 万 3 千円増)
 - 地籍調査事業費 ……………1 億 3,602 万 9 千円
 - 地域公共交通対策費 (コミバス運行業務委託料など) …… 1,563 万 1 千円
 - 参議院議院通常選挙費 …………… 1,350 万円
 - 和歌山県知事選挙費 …………… 1,350 万円
- 民生費… 16 億 8,078 万円 (▲ 7,786 万 3 千円)
 - 社会福祉総務費 ……………3 億 4,631 万 8 千円
 - 保険医療費 ……………5 億 5,542 万 4 千円
 - 児童福祉総務費 …………… 3 億 453 万 9 千円
 - 保育所費 ……………3 億 6,526 万 9 千円
- 衛生費… 8 億 8,326 万 3 千円 (2 億 1,422 万 2 千円増)
 - 公立紀南病院組合分賦金 ……………5,024 万 9 千円
 - 小児インフルエンザ予防接種補助金 …………… 256 万円
 - 田辺市周辺衛生施設組合 …………… 1 億 327 万 7 千円
 - 環境監視員賃金 …………… 266 万円
 - 浸出水処理施設及びリサイクル施設建設工事費 …… 2 億 9,000 万円
- 農林水産業費… 11 億 3,876 万 2 千円 (▲ 6 億 2,235 万 1 千円)
 - うめ振興費 ……………1 億 1,875 万 6 千円
 - 南紀用水事業費 …………… 1 億 7,351 万円
 - 中山間地域等直接支払事業費 …………… 1 億 5,922 万円
 - 黒潮フルーツライン関連負担金 ……………1 億 3,389 万 7 千円
- 備長炭振興費 …………… 1,582 万 9 千円
- 岩代漁港施設整備工事費 …………… 530 万円
- 千鹿浦集落道整備事業費 …………… 3,970 万 1 千円
- 堺漁港水門測量設計業務委託料 …………… 1,600 万円
- 商工費……………6,192 万 3 千円 (▲ 779 万 3 千円)
 - 鶴の湯管理事業費 …………… 1,367 万 6 千円
- 土木費 … 6 億 2,698 万 9 千円 (▲ 2 億 7,641 万 2 千円)
 - 道路新設改良費 …………… 1,947 万 5 千円
 - 地域連携推進事業費 (学校橋歩道橋橋梁補修工事) …… 6,374 万 2 千円
 - 地域住宅交付金事業費 ……………1 億 7,744 万 2 千円
- 消防費… 2 億 7,111 万 7 千円 (1,142 万 8 千円増)
 - 日高広域消防事務組合負担金 ……………2 億 1,201 万 4 千円
 - 消防団員退職報償金 …………… 740 万円
 - 自主防災組織補助金 …………… 100 万円
- 教育費… 10 億 1,568 万 8 千円 (1 億 1,672 万 3 千円増)
 - 清川小複式化対策非常勤講師賃金・教室介助員賃金など …… 4,653 万 3 千円
 - 岩代小学校舎改築工事費 ……………4 億 7,750 万円
 - 清中技術棟耐震診断委託料 …………… 140 万円
- 公債費… 17 億 5,806 万 6 千円 (2,009 万 3 千円増)
 - 町債 (元金、利子) を返済するための費用
- 予備費…………… 1,000 万円 (増減なし)

予 算 質 疑

みなべ町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例など6件、平成21年度各会計の補正予算6件、平成22年度一般会計予算等10件が上程されました。各議案には活発な質疑がありました。特に22年度予算については、3月15日から17日までの三日間に行なわれ、その質疑の内容の一部を報告します。



東岩代集落センター

コミュニティ助成事業

Q コミュニティ助成事業補助金とは。

A 地域住民が、自ら豊かで住みよい活力ある町づくりを推進する活動に対して、助成を行います。

助成対象事業の経費が、1件30万円以上で、対象者は地区住民のコミュニティ組織等であります。

財産管理費

Q 財産管理費の中で水道料があるが、どこにどのような水道が必要なのか。

A 消防施設ということ

で、芝崎地区の消防倉庫と、図書館裏の倉庫の2ヶ所の水道料です。

コンビニ収納

Q どのようにするのが、また、費用対効果の見直しは。

A この4月から取り組みたいと考えています。費用に対する効果があるということではなく、町民の方が24時間いつでも納付できる環境を、整備することになります。

Q 地域生活支援事業委託料とは、どういふことを支援するのか。

A 主に障がい者の相談事業や、デイサービス事業で、保護者の負担軽減や、奉仕員の養成研修などです。

環境美化リサイクル事業

Q 環境美化リサイクル事業、団体補助等、どのような団体に補助するのか。

A ごみステーションごみ置き場の改修費用、ステーション新設などに対する一部少額な補助金等です。

環境監視員

Q 環境監視員に警察OBを本年度も採用するのか。

A 監視員を今年も採用します。去年一年間で色々問題があり、専門的知識を要し、警察関係の方が相談員になられ、非常に助かり、必要性を認識しています。

工事請負費

Q 最終処分場の、浸出水処理施設、およびリサイクル施設、建設工事費2億9千万円計上しているが、その財源内訳は。

A 国庫補助金が1億円、起債、合併特例債

で1億9千万円を予定しています。



ゴミステーション

梅振興

Q ラジオキャンペーンは、どこの地域で行うのか、またその規模は。

A 北海道放送、関東地方で文化放送、近畿で和歌山放送、関西で朝日放送、九州朝日放送の5局です。青梅のとき90本、お中元で110本、お歳暮で120本、観梅時期10本計330本の予定です。

Q 梅の宣伝をするに、中国産や他産地の梅をPRしていると思う。みなへの南高梅をアピールするようにはできないのか。

A ラジオキャンペーンで梅の宣伝をすればするほど、他の梅全体の話となりますが、「みなへの梅」で



全部統一し、いかなる場合も「みなへの梅」を前に出していきます。



埴田堺線

前立腺ガン検診

Q 国保の特定健診で、血液検査項目の中で、前立腺ガンの検査を、入れる予定はないのか。

A 平成22年度からと想っています。が、本年度予算に間に合わなかったが、できれば早い機会に実施したいと考えています。

妊婦健診扶助費

Q 扶助費の妊婦健診費の償還払（特例措置）の説明を。

A 第3子以降は上限1万円まで補助します。

町道維持

県外での健診では、先に払っていただき、領収書に基づき支払いします。

Q 町道の延長距離は何メートルか。また維持工事費600万円は昨年の3分の1になっているが。

A 町道距離は、327メートルです。工事費については、国の臨時交付金で前倒し予算化しています。今年度600万円は通常の維持費用です。

Q 埴田堺線の改修工事の今後の予定は。

井之台住宅

A 国の補助、交付金などを付けてもらって3年計画でやりたく思っています。今、調査設計中であり、全体で7工区位を予定しています。今のところ23年度で終了と考えています。

Q 井之台地区改良住宅、建替工事の今後の予定は。

A 平成21年度は3棟24戸分を建設しています。本年度、1棟8戸を建設し、外構や物置を完成し、23年度でいま入っておられる4階建て住宅のみなさんに、入居してもらおう予定です。



井之台住宅

日高広域消防事務組合の負担金

Q 昨年度と比較して、日高広域消防事務組合への負担金が1,111万円増えているが。

A 交付税の算定に用いる消防費の、基準財政需用額77.1パーセントを乗じたのが、組合費の負担金となりますので、単純に言いますと交付税の伸びによる負担金増となります。

学校給食

Q 基本構想の作成委託料が予算計上されているが、早期実現に向けての考えは。

A 盛りたくさんの資料を作りたいと考えています。整備がつき次第、早く進展できるように方向をいきたいと思っています。

千里ヶ丘球場

Q 千里ヶ丘球場の将来的な考えは。

A 指定管理者制度も視野に入れ、今後管理していくが、現在検討している最中です。

一般質問

一般質問は3月9日に8人の議員が行いました。(質問者から提出された原稿とおり掲載しています)



山中邦夫 議員

『水道ビジョンについて』

質問

この「水道ビジョン」の内容について伺います。もちろん、これは委託をして作成するわけですから、その報告を待たないと言えないと思いますが、委託をするわけですから、どういう内容を委託するのかわ聞かせ下さい。

町長

「水道ビジョン」でございますけれども、みなべ町の水道事業につきましましては、住民生活において欠かすことのできない重要な事業であることから、今後安心・安全な水を供給していくために、水道施設の良好な維持管理及び健全な事業運営を行うとともに、施設の更新や災害対策を計画的に行う必

要があります。

このようなことから、地域水道ビジョンを作成して、今後の水道事業に求められる、施策の着実な実施を図っていくことが作成の趣旨でございます。

内容としましては、①安心な水を供給するため、健全な事業経営の確立の検討。②上水道事業と簡易水道事業の統合による経済効果の算定。③統合したときに、災害時及び緊急時の対応ができるのか検討。④施設の耐震化の検討とその実施に向けた工程の作成。⑤上水道と簡易水道との料金統一化の検討が内容でございます。



水源池

東部配水池の改築計画



東部配水池

質問

東部配水池の改築計画についてですが、今のタンクについて、周辺住民は不安を持っています。ですから、新しく造り替えられるのは良いことですが、より安全なものを造ることが必要です。

町長

東部配水池ですが、現在の有効容量は1,500m³です。利用予測の見直しを行った結果、2,200m³の水量が必要です。そして、2池分割構造が最適ということになりました。

上下水道課長

タンクを設ける地盤は、2層近くカットすると強固な地盤になります。ひび割れとか地震に強い工法を使います。震度7程度までの地震に耐える構造となっております。

そこで、現在のタンクの横に1池目(1,250m³)を造り、次に既存配水池を撤去し、新たに2池目(1,250m³)を整備することにした。工事は、22年、23年の2ヶ年事業で行いたいと考えています。



竹本栄次 議員

施政方針関連

行財政計画

質問

行財政改革第1次実施計画が、平成19年から23年度まで、7項目の数値目標を立て約2億8千万円削減する計画ですが、3年経過しましたが計画どおり実施されているのか。

町長

計画では行財政改革大綱7分類の項目を掲げています。具体的には、32項目の改革政策を掲げ、平成23年度までに約2億8千万円の削減を目指すようになっていきます。予定より早く進んでいる状況です。

総務課長

事務事業の見直し、人件費の適正化、公債費負担の適正化の進捗状況ですが、数値的には予定より順調に早く進んでいます。今後も行財政改革に積極的に取り組んでいきます。

権限移譲

質問

平成22年から23年度にかけて、56法律に基づく事務の一部が、県から町へ権限移譲されるが、行財政システムの構築をどうするのかが。

町長

平成22年4月から34項目の事務が町に移譲されます。職員数が限られていますが、専門職を置くことがむづかしく、専門性を必要とする事業等は、近隣の市町で共同体制の整備を進める必要があると思います。



施政方針の発表

予算

質問

予算編成をするとき、関連事業については、各課綿密に打ち合わせをしているのか、また、課職員が共通の認識をもって全員で予算作成をしているのか。

町長

事業関係については、各課協議のうえ当然やっています。予算作成は課職員全員ではしていないかと思えます。職員には、予算編成要領で本年度の方針を出します。交付税が減っても予算が組める財政構造を、着実に進めます。

梅調味廃液

質問

調味廃液の処理施設はいいが、バイオガス発電については、調味廃液の量が、安定的に確保できるのか。ガスを発生させるエネルギーと発電エネルギーとの関係が明確でないと思うが。

町長

平成19年、地域新エネルギービジョンを策定して、バイオガス発電構想の調査を行い、技術的には可能であります。採算性の目的が立っていませんが、実施には発電の部分や調味廃液の確保の部分で検討の余地があります。



バイオガス発電

町主催の『地区懇談会』を



田中昭彦 議員

質問

2月の地方紙に、みなべ町商工女性部の皆さんと町長との間で、座談会を開催し、町政全般や梅の消費拡大等で双方活発な意見交換をされたとありました。日頃、町民の方々は、町政と接する機会が少ないし、それゆえか全般的に町政に対する関心度が低いように思われます。

そこでこの座談会が開かれた契機に、町長が主催する地区懇談会を全町で行っては。町の現況や将来のあるべき姿を説明する一方、町民からの質問や意見・要望を聞き、今後の町政運営に生かしてはどうか。

町長

町主催の地区懇談会の必要性は、非常に感じております。町の事業等は広報でお知らせしておりますが、よく見てもらっていないと思います。反面、ホームページへのアクセスは、非常によいと思っています。

今後地区懇談会については、区長会とも相談させていただきます。前向きに取り組んでまいります。施政方針でも申し上げます。町民の声や要望を最優先に、町民の目線に立った施策を図ってまいります。



みなべ町役場

学力テストと体力テスト

質問

昨年実施された体力テストは、学力テスト同様、全国中、和歌山県の成績は芳しくなかった。

みなべ町の成績はどうだったか。

教育長

県下の中では、小学校は中の中、中学校は中の上でした。

質問

体力向上のため、県が実施している、きのくにチャレンジランキングへの参加状況は。

教育長

いっせい参加ではありませんが、各校で参加しています。対象外の一輪車にも積極的に取り組み、また早寝・早起き・朝ごはんの基本的な生活習慣を身につけるようにしています。

質問

体力向上に、グラウンドの芝生化は。

教育長

保護者や地域の皆さんの協力が必要で、また経費の問題もあり、今後の検討課題となります。

質問

22年度の学力テストには参加するのかわかりますか。

教育長

参加します。今まで続けており、今後もしっかり把握する必要がありますと考えております。

その他に、町内のAEDの保守・管理について質問しました。



元気に遊ぶ児童



天野 仁 議員

梅販売振興策に

質問

今年度中における合併特例債の残高はどのくらいか。また、合併時の協議会で満額使途方向が定められていたのか。

町長

平成22年度末での事業費分の残り枠として16億2千190万円でございます。枠としては、残り8億1千490万円ございます。合計金額24億3千680万円が平成22年度末の状況の予定でございます。

満額の使途は決められておりませんが、財政健全化計画により、充当した分もございまして、今の計画ではすべてあてはめていくことになります。

SAでのPRRのあり方は

質問

以前の一般質問から、いよいよ動き出した報告と受け止めるが、切目SA下り線側施設でのPRRのあり方はどのような内容規模を予定しているのか。

町長

第3セクターの会社として運営、特産品のPRRやイベントコーナーを新設し、事業の中に盛り込んでいきます。ポスターやパンフレットを置くだけでなく、

色んな各種イベントを打てるような感じしていきたい。寄っていただけのような仕組みづくりが必要と思っています。

お客様に

求めやすさを

質問

合併特例債という財政的にも千載一遇のチャンス時期として、やはり高速上り線にSAを設け「みなべの梅」を買い求めていただく所、梅料理を食べていただく所、PR館を含め設備すれば、恒常的に情報発信が生かせることになると思うが。

町長

独自のSAを持つことは、町の財政状況では、難しいと思っておりますが、諦めたわけではありません。

質問

独自のSAを持つ事が無理ならば、みなべインター付近での共同販売所の検討はどうか。

町長

せっかくなある国道424号の「道の駅」うめ振興館の活用が、まだまだPR不足かなと思っています。



梅振興館

「やろう」と「やらない」とは

質問

下り線印南SAでの取り組みが見えてきたが、まず立ち寄っていただける確率は厳しいと思う。素通りされるとPRする方法がない。よって町長として、課題もクリアしながら関係団体と共に「やろう」ということになれないものか。

町長

決して諦めておるわけでもありませんし、やらないというわけでもございません。出来るだけやっていきたいというふうには思っております。

“梅の効用”の特許の活用を



北谷清治 議員

質問

町は梅の効用として、2点の特許を取
得した。今、町の基幹産業の
梅干の販売が落ち込んでおり、
また10kgタルの単価も下り、
売れない農家も多いように聞
きます。また加工業者の方の
話では、安いものばかり売
れるとの事で、経営も大変に
苦勞されております。
この状況の中、この特許の
内容を消費者に認識してもら
うのも、消費を喚起するひと
つの方法ではないでしょうか。
たとえば効用のパンフレット

を作成し、業者さんを通じて
消費者に届け効用を訴える。
あるいは、小売店の店頭にお
いてもらい、多くの人々に再
認識してもらおう。全国の新聞
や雑誌、ラジオコマースヤル
を使うのも方法でしょう。
また、うめ課の当初予算に
も、うめ効能PR企画委託料
が計上されており、テレビ番
組を制作するとの事ですが具
体的にどのような内容なのか
いつ頃の予定なのかお聞せ願
えたらと思います。



町長

研究成果が出た2
つの特許について、
本年度は消費拡大の柱として
取り組んでまいります。
効能について、日本テレビ
のゴールデン枠で放送が決定
しており、町としても、パン
フレットを作って業界の方々
に利用していただくよう、進
めてまいります。

課長

梅の効能のPR企
画第1点目として、
効能のPRの30分番組の作成
第2点目、報道情報番組で
梅は体に良いということの説
明の番組を作る。

町長

町の観光パンフレ
ットという考えで、
業者さんに利用していただき
全国の販売店でPRしてまい
りたいと考えている。

質問

PRパンフレットを
速やかに作成して、今の時期
何とか乗り越えられるようお
願いたいと思うが。

のCM。

第5点目、効能PRの30分
ものをわかりやすく縮小した
DVDを作成する。

第6点目、継続的に行なっ
ている青梅の時期、お中元の
時期、お歳暮の時期、観梅の
時期のラジオキャンペーンで
梅の効能を中心にPRする。



PRパンフレット



下村 勤 議員

今日の梅対策

質問

青梅の需要拡大に向け、南部梅林で2月11日に実施された、梅酒試飲会も盛会に終わりました。

行政は、今日まで販路拡大の取り組みや医学的効能特許の取得、各種イベントの参加など、積極的に取り組みをしてくれています。しかし、今日の景気の低迷と、需要の落ち込みにより、農家では約70万タールが在庫を抱え大変な状況となっています。

このような状況を打開していくには、今、行政が前面に立ちJA、梅加工業者、生産農家で話し合いの場を作り、リーダーシップを必要とされていると思います。その中で、



地区懇談会など、行政主導で取り組めないですが。

町長

消費の低迷、原料在庫状況など、かつてない厳しい状況にあると認識しています。昨年の夏から梅干生産者、梅加工業者、JA、行政、4者で数回協議を重ねてきています。

地区懇談会の話も出ていますが、田辺市との連携が必要不可欠であり、今協議中であります。一日も早く実現したく思っています。近年、特に4者の連携も密度を増しており、この4者の母体である、南部郷梅対策協議会で、対応をしてみたいと思います。

災害時の備蓄用として

質問

東南海・南海地震がいつ起こるかかわからない今日、その対象となる自治体に災害備蓄食品として、梅干しの活用を取り組みを。

町長

南海・東南海の予想される各自自治体に、何らかの形でパンフレットや見本の商品を送る取り組みをしてみたいです。JAや加工業者さんとも相談をし、取り組んでまいります。

『うめ課』を第二庁舎へ

質問

全国的にも注目をされている、『うめ課』を、町の玄関である第一庁舎に置けないか。

町長

来年4月に、定年退職者も多くなりまます。そこで考えては思いますが、時期が決定しているわけでもありませんので、早急にやれるものであれば考えてまいります。

町の特産物コーナーの設置を

質問

第一庁舎の玄関ホールに、町の特産物展示コーナーの設置を。

町長

今まで無かったことについて、反省しなければなりません。町の特産品である、梅、備長炭、魚などを展示できるよう、前向きに検討してまいります。販売については、今後考えてまいります。地産地消もいわれている中、町内にある特産品を生かし、早々に検討してまいります。



うめ課

梅農家の現状『生活が苦しい』 嘆きの悲鳴について



楠本誠二 議員

質問

梅農家の多くが、在庫を抱え、また安価にもかかわらず、いつはけるか分からない状態。南部郷梅対策協議会（生産者・加工業者・JA・行政）は機能しているのか。

町長

まず協議会の機能ですが、会議を再々進めています。組織的に4者が寄って、今後どうすべきか活発に活動していると思いません。

今後のとるべき道ということで、色々PRについての方法、町内の宿泊施設で梅を食べてもらい、また米産地で学校給食に梅を使っていたかどうか、これらも今も話し合

いをしていくところで。

生産調整の部分の話が出てきていますが、これにつきましては、梅の木を切ったり、梅干を廃棄したりという話にはならないと思えますので、どういふ分野でいくか、災害用の備蓄食糧としての活用、ここらも非常に良いのではないかなと思っています。

県の果樹園芸課の課長、農林部の局長も一緒に熱心に協議会へ参加していただいています。引き続き対策協議会の中で、一日も早い解決策を目指して頑張る、早急に対応したいと思っています。



PRパンフレット

質問

町税の減収につながっていくと思うが、後継者も減っていくのではないかと、伺います。

町長

今、税の申告も行っていきますが、非常に大きく落ち込んでいます。早く手立てをとっていくことが、業界も生産者も対等の立

場で話をされています。町はその中でどこまで仲立ちができるかということですが、

今後は県も含めて、融資的な制度について検討しているところです。これらを含め早急に対策をたてていきます。

町が特許を取得している 医学的効能の活用について

質問

梅の胃ガン抑制・糖尿病予防等、医学的効能の特許を一刻も早く世間に知らせてもらう、また新型インフルに効用があるということについても発表はありますか。

町長

梅の効用についての町のパンフも近々

出来上がってまいります。本年度予算では、視覚に訴えるよう、テレビ等で4月以降放送されます。新型インフルエングに効く結果は出てあるが、発表まで至っていません。知事も力をいれていただいていますので、早急に発表出来ればと思っております。



中井重雄 議員

火葬場について

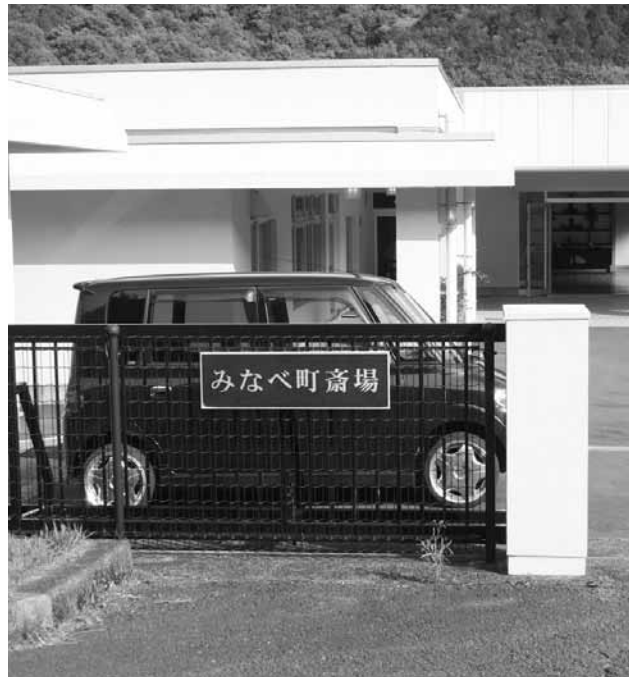
質問

火葬場について三
点の質問をします。

第一は、424号より入った50号付近で、道路が崩落して大型車の通行が困難になっているため、早急に補修してもらいたい。

第二は、煙突部分が屋外のため雨の吹きさらしになっており、鉄骨等で屋根を取り付けてはどうか。

第三は、屋内の待合室に冷房装置が設置されているが、拾骨室に設置してほしい。これは、拾骨の際の熱気のための苦情が多く出ているからです。以上三点をお伺いします。



火葬場

町長

国道から火葬場への石積み所、網で止まっている部分、これは早急に対応してまいりたいと思います。それから、煙突附近は、現在行っており、平成21年度定期修繕にて詳細に検討してまいりたいと思います。

その結果を見まして判断してまいりたいと思います。それから待合室に冷房があり、拾骨室に設置してほしいという点ですが、いま考えているのは、上南部保育所が移転をいたしまして、その残る施設にあるクーラーを代用できないかということを検討中です。

鶴の湯温泉の修繕

質問

今年度の予算で少し改修工事を予定しているが、どのような改修をするのか。

水をくみ上げるパイプを取り替えるのか、パイプ等を取り替えただけで水量が豊富にあるのか。

露天風呂2ヶ所を使用しているが、かけ流しするだけの水量は十分あるのか、町長にお伺いします。

町長

本年度の予算を置いていますのは、受水槽ですけれども、温泉ではなしに、外で洗ったり、シャ

ワーに使う水道の修繕です。温泉の部分につきましては詰まっているパイプ部分を掃除するだけで十分だと思えます。

質問

風呂の方の湯量は、今度のパイプ修理しただけで十分だということですが、かけ流しできる水量があるということですか。

町長

今回、パイプの掃除をすることにより、容量を確保する。そうしますと十分の湯の量は確保できると思っています。



鶴の湯

常任委員会の活動報告

委員会活動として、総務文教常任委員会では紀美野町旧真国小学校廃校の利用について視察研修、産業建設常任委員会では建設課の地籍調査についての研修。

総務文教常任委員会

紀美野町立旧真国小学校廃校の利用について視察研修

去る、2月16日、紀美野町教育委員会から廃校となった経緯について説明を受けた。真国地区の人口減が原因で、数年入学生がいなく保護者から下神野小学校（7km）に転入要望があり、廃校となった時は、地域の要望を重要視しながら、地域活性化の施設として使用出来るようにとのこと。

平成18年6月30日に廃校となり、しら創造芸術高等専修

学校の設立説明、町と教育委員会、議会や区民との協議をし、土地及び建物無償貸し付け契約を締結。契約締結は平成19年4月15日で開校の運びとなった。最初は地元の人々は不安であったが、今では地元の人々と助け合い、イベントのあることに何日も協力してくれ、それに生徒も答えているとのこと。生徒は生き甲斐を持ち自分の目指すものを見つけているとのこと、生き生きと毎日を送っているようです。

産業建設常任委員会

地籍調査事業説明会資料

地籍調査はみなさんの協力により
みなさんの大切な土地を守ります



みなべ町役場 地籍調査係

説明会資料

地籍調査事業

について

2月18日に、平成3年の堺地区から始まった地籍調査事業について、担当の建設課地籍調査係より説明を受けた。

河川、国有林を除いた調査対象面積119km²のうち、28km²が町の直営及び委託による完了分で、2km²は国の測量調査により、地籍調査と同等以上の精度があるものと認められたもの。

平成21年度調査対象土地4地区の2km²については、現地調査は終了とのこと。
その他、今までであった個別

の事例についてや、この事業に対する要望等、活発な質疑応答が行われた。



視察研修会



研修会

食糧自給率の向上と国内農林水産漁業の振興をはかるための施策を求める意見書

3月定例会では、昨年の12月定例会に請願書が提出され、産業建設常任委員会に付託されてきました。委員会では何回かの審議を重ね採択され、これを受けて意見書(案)が委員長提案し、可決されました。

いま世界の食糧事情は、改善されるどころか益々悪化し、飢餓人口が10億人を超えています。背景には、食糧需給の逼迫化とそれを加速する食糧まで使ったバイオ燃料の急増、そして世界を巻き込んだ新自由経済の破綻があります。また、地球温暖化問題も解決が急がれます。ところが日本の食糧自給率はカロリーで41%に過ぎません。外国で生産された農林水産物を大量の燃料を使ってCO₂を吐き出しながら運ぶことは、地球の温暖化対策にとっても有害です。国内生産の拡大こそ考えるべきではないでしょうか。

食の安全・安心や地域農業も深刻な状況になっています。40年以上にわたって食糧自給率が低下し続け、6割もの国民食糧を輸入に依存する体制が作られてきました。その結果国内農業生産も低下し続け、地域や地域経済が破壊されてきています。この流れは、W

TO(世界貿易機関)協定ができてから加速されています。日米FTAだけでなく、オーストラリアとのEPA交渉、WTO交渉も止め、自由化の影響を検証すべき時です。

今こそ、国内の農林漁業生産を拡大し、自給率を高める実行ある政策を国の柱に据えるべきです。再生産をできる価格保障・所得補償制度の充実や、不要なミニマムアクセス米の輸入は止め、食糧備蓄の充実を図るとともに、「食糧主権」の考え方に立った貿易ルールを確立することが必要です。

以上の趣旨から、政府におかれては、以下の事項を実現されるよう強く求めるものです。

以上地方自治法第99条の規定により意見書を提出いたします。

記

1 食糧自給率を向上させるため、国内農林漁業生産を拡大すること。米をはじめ農林水産物の生産費をまかなう価格保障・所得補償政策を実現させること。

2 食の安全・安心のため、食品衛生監視員の増員などの検査体制を強化するとともに、加工品を含め食品の原料原産

地や添加物等の表示を徹底すること。

3 汚染米事件の原因にもなった不要な外米(ミニマムアクセス米)の輸入は止めること。

4 日本農業をつぶす日米FTA・日豪EPA、WTO交

渉など、これ以上の自由化交渉は止めること。

平成22年3月17日

【提出先】

内閣総理大臣
農林水産大臣

広報特別委員会研修

広報特別委員会では去る2月25日、26日に実施されました、第71回町村議会広報研修会に参加しました。一日目は「わかりやすい文章表現・表記について」、「読まれる広報紙のつくり方」、「ネットPR発想で考える自治体ホームページの活用方法」等の講義を受けました。

二日目は全国の優秀な議会の広報紙をもとに、広報コンサルタント、深沢徹先生の批評とアドバイスを受けました。この研修を生かして、委員会では「ありのままの議事公開」に徹し、「住民の誰もが分かりやすく親しみやすい広報」づくりに務めてまいります。と思っています。



サークル紹介

大正琴 ザ・やよい



練習の終了後

高城えびね愛好会



文化展に出品

発足

昭和52年4月

現在

代表者 大畑 英雄
会員数 20名

活動

年1回春にえびね展を開催。秋は文化祭に山野草、盆栽展に出品しています。

発足

平成18年4月

現在

代表者 佐藤 雅子
指導者 芝田 恵子
会員数 13名

活動

第2・第4土曜日に練習。2年に一度の発表会や、文化祭にも参加。その他老人ホームの慰問や、歌謡教室の発表会にも友情出演しています。

一言(えびね愛好会)

自然を大切にし、自然体で野にそっと咲いている山野草、えびねを大事に育てています。

一言(大正琴)

日頃、指を動かすことは少ないが、大正琴は小指以外の指を動かして演奏しますので、脳の活性化に良く、挑戦をお待ちしています。

《人事異動》

今年度4月異動により、林康博から、木田勝紀に変わりました。宜しく願います。

あとがき

平成22年度の一一般会計82億7千万円の予算が決定されました。今予算の町民税収入は昨年よりも約7千2百万円の減収予算となっています。これは昨今の梅産業に与える影響が諸に出ています。また3月の冷害により今年の梅も不作傾向になるのではと心配されます。

広報紙21号も住民の皆様にお届けさせていただきました。ご理解いただける明るいニュースも掲載できればと願っています。ご意見等聞かせていただければ幸いです。

(下)